

学校薬剤師研修会 in 印旛支部 報告

印旛支部長 湯浅恵美子

平成28年5月21日(土)19:30より成田市保健福祉会館にて開催されました講師を、千葉県学校薬剤師会副会長の大塚昌孝先生にお願いし、

33名の学校薬剤師と、7名の実習生が、参加しました。

今年度就任の新人学校薬剤師や、実習生が参加！ということで、わかりやすくまず、学校薬剤師の歴史からスタート！

千葉県で最も古く学校薬剤師が酒配置されたのが、銚子と勝浦で、昭和12年のこと！というのには、驚きの声が上がりました。



学校環境衛生基準について、具体的に説明があり、その中で興味深かった事が、二酸化炭素濃度は、1500ppm以下が望ましいと言う基準値は、皆さん知っていますが大気中の二酸化炭素濃度が約400ppmあるという事実は、知られてなく検査報告書に、それ以下の数値が

記入されている学校が、あったという事！

基準値を上回る場合の換気の回数は、

- ・幼稚園、小学校では 2、2回毎時以上
- ・中学校では 3、2回毎時以上
- ・高等学校では 4、4回毎時以上

と、教室の換気を十分確保する事によって、

体への影響を減らしカゼ、インフルエンザの予防対策

にも良いと、事後対応についても納得のいく研修でした。基準

値はわかっているても、対処方法が分からない！という点も解決することができた研修でした。



薬物乱用防止教室は、学校保健計画で、全ての中学校及び高等学校において、年1回は、開催するとともに、地域の実情に応じて、小学校においても、開催に努める。と記載されています。

実際の柏の学校での出張講座の様子を見ながら、初めて学校で授業を行う注意点なども教えていただきました。

初めから上手に、できる先生は、いません！

子供たちの目線で話しましょう！